

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 2年 2月 28日

事業所名 ウィズユー摂津東淀川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		運動スペースと学習スペースを分離し、集中して療育できるようにしている	
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者2～3名に対して1名の指導員を配置できるようにしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		療育スペースに段差はない	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々の療育、苦情、ヒヤリハットの対応を職員で協議、対応している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		今回が初めての評価となるため、いただいた評価を業務改善に努めていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今回が初めての評価となるため、結果をHP上で公開する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		FC本部のスーパーバイザーが施設内指導を行っており、それを基に業務改善に努めている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		勉強会は開催しているが不定期であるため、1か月に1度の開催を目標とする
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		自発管による聞き取りを元に、適切に作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		大阪市HP掲載のシートを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		その時の状況に応じて、柔軟にプログラムを変更している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		学習、運動、外出など適宜状況に応じて課題を設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の状況を考慮して計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で当日スケジュール、役割などを確認している	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日の朝礼で前日の振り返り、気付きの共有を図っている		

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人ケア記録を日々作成しており、いつでも振り返りや検証ができる体制をとっている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的ではなかったため、時期を決定し計画の見直しを行うようにする
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている		○		現在重症心身障がいのご利用者様はいらっ しやらない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている		○		現段階で該当する子どもはいらっしゃらな い。今後対応することとする
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している		○		現段階で該当する子どもはいらっしゃらな い。今後対応することとする
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	○		適宜面談を実施するな どして情報交換を行っ ている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る		○		今後、地域のイベントへの参加を検討する
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○		送迎時に保護者様とコ ミュニケーションを図 り、情報共有を図って いる。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニン グ等の支援を行っている		○		今後開催を検討する	
保護者へ の説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している		○		今後保護者会などの開催を検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	○		保護者様へ定期的に活 動状況の写真をスマホ で提供している。プロ グでも公表している	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報取り扱いの重 要性について勉強会を 実施	

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カード、写真、文字などに対応している	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後の検討課題とする

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルは備えているが、職員や保護者に周知するには至っていない。保護者様には契約時などに伝えている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害時の勉強会を実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待が起きないよう、管理者が目を配っているが、研修機会等については、今後の課題とする
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		該当のある子供については対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例が発生した際にはその原因と今後の対策について従業員で協議している	